

千歳市教育施策の平成 28 年度実施状況と平成 29 年度の主な取組

分野	項目	平成 28 年度の主な実施状況	平成 29 年度の主な取組
学校教育	1 確かな学力を育成する教育の推進	<p>学力向上の推進</p> <p>① 各学校の「学校改善プラン」に関するヒアリングを踏まえた、重点項目「授業内容の理解定着」、「家庭学習の充実」、「算数・数学科における習熟度別指導・T T 指導等の指導方法改善・充実」の着実な定着 拡充</p> <p>② 子どもたちの教育環境の向上を図るため、新たに全小中学校で「土曜授業」を年 4 回実施、4 月 16 日又は 23 日、5 月 14 日、9 月 24 日、12 月 10 日の実施日を市内で統一し、土曜日午前 3 時間授業を実施 新規</p> <p>③ 千歳市学力向上検討委員会における「全国学力・学習状況調査」の分析・対応、授業改善案などの提言</p> <p>④ 千歳科学技術大学の学生ボランティアによる「学習サポート事業」の実施や「e ラーニングシステム」の内容充実の検討、「e カレッジ」の参加促進</p>	<p>学力向上の推進</p> <p>① 各学校の「学校改善プラン」に関するヒアリングを踏まえた、重点項目「授業内容の理解定着」、「家庭学習の充実」、「算数・数学科における習熟度別指導・T T 指導等の指導方法改善・充実」の着実な定着</p> <p>② 全小中学校で「土曜授業」を 4 月 15 日又は 22 日、5 月 13 日、10 月 28 日、12 月 9 日の年 4 回、市内で統一実施</p> <p>③ 千歳市学力向上検討委員会における「全国学力・学習状況調査」の分析・対応、授業改善案の提言、学校への提言などの取組や、「千歳チャレンジ」などの学習プリントの活用促進</p> <p>④ 千歳科学技術大学の学生ボランティアによる「学習サポート事業」の実施や千歳科学技術大学と共同し「e ラーニングシステム」の各教科のコンテンツ内容の見直し、「e カレッジ」の参加促進 拡充</p> <p>⑤ 千歳市学力向上検討委員会において学力向上モデル校の指定（小学校 3 校、中学校 2 校）を行い、小学校部会と中学校部会を設置し、学力向上の取組を徹底 新規</p> <p>⑥ 千歳市の子どもたちの学力の現状や課題、学力の必要性、家庭学習の重要性などを分かりやすく解説した「学力向上に関するパンフレット」を作成し、全児童生徒や保護者に配布 新規</p> <p>⑦ 標準学力検査（NRT）の小学 6 年生の科目に理科を追加 拡充</p>
		<p>学校指導体制の拡充</p> <p>① 新たに、教育委員会内に「学校指導室」を設置し、学校指導訪問や授業における ICT 機器の発展的な活用、学力向上検討委員会の運営、小中連携の推進など、学校と連携した取組を促進するため、新たに「学校指導室」を設置し、学校指導体制を充実 新規</p>	<p>学校指導体制の拡充</p> <p>① 学校指導室に配置している学校教育主事（非常勤職員：退職校長）を 1 名増員し 3 名体制とし、学校指導体制を充実 拡充</p> <p>② 学校指導室による独自学校指導訪問として、経営訪問、指定事業訪問、一般訪問、課題別訪問などの実施 拡充</p>
		<p>習熟度別少人数指導の推進</p> <p>① 確かな学力の向上を図るため、小学校 13 校に 14 名配置している「学習支援員」を活用した習熟度別少人数指導の充実、「学習支援員」を第 2 種非常勤職員に位置づけ、人事管理と指導力のある人材の確保</p>	<p>習熟度別少人数指導の推進</p> <p>① 確かな学力の向上を図るため、「学習支援員」を小学校に 6 名増員し 14 名から 20 名に、中学校に 2 名新規配置し、全体で 14 名から 22 名とし、習熟度別少人数指導を充実、平成 29 年、30 年度で段階的に拡大、最終的に 14 名から 30 名に拡大 拡充</p>

分野	項目	平成28年度の主な実施状況	平成29年度の主な取組
学校教育		<p>生活習慣・家庭学習の普及定着</p> <p>① 子どものスマートフォンやゲーム機の使い方など、生活習慣の改善を図るため、「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、「千歳市家庭生活宣言」を全校に普及させ、望ましい生活習慣の定着を図るため、市P連内に「千歳市家庭生活宣言推進委員会」を設置し、全校の単P役員への趣旨説明と協力依頼の実施 拡充</p> <p>② 中学校区ごとに小中学校共通の「家庭学習の手引き」の作成と普及</p>	<p>生活習慣・家庭学習の普及定着</p> <p>① 千歳市PTA連合会の「千歳市家庭生活宣言推進委員会」による取組、各学校の単Pにおける「千歳市家庭生活宣言」を踏まえた具体的な取組の実施 拡充</p> <p>② 中学校区ごとに小中学校共通の「家庭学習の手引き」の作成と普及</p> <p>③ 市民提案型協働事業として千歳市PTA連合会と教育委員会の協働による「家庭生活宣言」の普及啓発に関する新規事業の実施（平成29.30年度） 新規</p>
	2 教育環境の充実	<p>学校施設の整備</p> <p>① 安全・安心な教育環境を確保するため、校舎の外壁、トイレ、放送設備などの大規模改修の実施、屋内運動場の非構造部材の耐震化工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修 … 信濃小、高台小、東小、青葉中、北斗中（一部） ・放送設備更新 … 東小、北陽小、東千歳中 ・非構造部材耐震化 … 末広小、第二小、北進小中、祝梅小、富丘中、東千歳中 ・校舎耐震化 … 19年度～25年度で完了 <p>② 安定的かつ良好な居住環境を確保し定住を促進するため、教職員対象のアンケート調査を改めて実施し、一般教職員住宅の整備方針の検討 新規</p> <p>③ 小中学校煙突のアスベスト対策として、全小中学校の敷地内において、空気中に含まれるアスベスト濃度の測定を1月に実施し、大気汚染防止法に定める敷地境界上における定量下限値（0.2本/μg）以下で不検出の結果 新規</p>	<p>学校施設の整備</p> <p>① 安全・安心な教育環境を確保するため、校舎の屋上防水、講堂の外壁及び屋根、トイレ、放送設備などの大規模改修の実施、屋内運動場の非構造部材の耐震化工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修 … 北栄小、北陽小、千歳中、北斗中（一部） ・放送設備更新 … 泉沢小、支笏湖小、駒里小中 平成29年度完了 ・非構造部材耐震化 … 北栄小、桜木小、北陽小、東小、支笏湖小、駒里小中 平成30年度完了 <p>② 一般教職員住宅（市街地・郡部）の整備について、民間を活用した手法を用いた整備方針の策定 新規</p> <p>③ 小中学校煙突のアスベスト対策「点検マニュアル」に基づき、毎年4月から8月までの間に目視等により、劣化・損傷調査を実施 拡充</p>
		<p>I C T 機器の整備</p> <p>① 子どもたちの学習に対する意欲や関心を高め、効果的な授業を展開するため、電子黒板等を小学校14校の習熟度別少人数指導用教室と特別支援学級に52式、中学校7校の理科室と特別支援学級に14式を配置（平成28、29年度） 拡充</p> <p>② 全中学校に主要5教科のデジタル教科書を整備し、平成27年度の小学校と合わせて、全小中学校への整備を完了 拡充</p> <p>③ 北陽小学校におけるタブレット端末の活用効果を検証</p> <p>④ 教員のI C T 機器活用能力の向上を図るため、各校の校内研修を充実するとともに、千歳市教育振興会と連携し、教員対象の全体研修を開催</p> <p>⑤ 教職員の校務効率化を図るため、全小中学校に校務支援システムを導入 拡充</p>	<p>I C T 機器の整備</p> <p>① 電子黒板等を小学校15校の理科室や音楽室などの特別教室に26式、中学校6校の音楽室や家庭科室などに32式の整備、小中学校の全普通教室に加え、習熟度別少人数指導用教室や特別支援学級、主要な特別教室の整備 拡充</p> <p>② 全小中学校におけるデジタル教科書の活用促進</p> <p>③ 北陽小学校及び勇舞中学校におけるタブレット端末の授業活用効果の検証</p> <p>④ 教員のI C T 機器活用能力の向上を図るため、各校の校内研修を充実するとともに、千歳市教育振興会と連携し、教員対象の全体研修の開催</p> <p>⑤ 教室等でインターネットを使用できる環境を整備するため、全小中学校の校内無線LAN整備計画・教室用パソコン整備計画の策定 新規</p>
		<p>小中連携・一貫教育の推進</p> <p>① 義務教育9年間を見通した系統的な教育活動を図り、中1ギャップの解消と小中学校の円滑な接続を図るため、「小中連携・一貫教育」のあり方の検討 新規</p>	<p>小中連携・一貫教育の推進</p> <p>① 「小中連携・一貫教育」の導入に向けて、先進事例の調査研究、教育委員会内に「小中連携・一貫教育検討委員会」を設置し基本方針を検討 新規</p>

分野	項目	平成28年度の主な実施状況	平成29年度の主な取組
学校教育		奨学金制度の拡充 ① 経済的に修学が困難な学生・生徒が等しく教育を受ける機会の確保を図るため、市独自の給付型（返還不要）奨学金制度を実施、奨学基金への寄付募集の促進 平成28年度寄附金件数 247件 寄附金総額 12,161,069円	奨学金制度の拡充 ① 奨学金の支給枠の拡大を図り、若者の進学意欲を高めるため、給付型奨学金の交付人数を高校生は45名から60名に、大学生の部は20名から25名に拡大 拡充
	3 国際社会に生きる人材を育成する教育の推進	外国語活動の推進 ① 外国語活動の実施学年を拡大し、全小学校の1年生から4年生において、新たに作成した共通の指導計画・指導案に基づく外国語活動の実施（小学1,2年 年間5時間、3,4年 年間10時間） ② 小学校の外国語活動の成果を検証し、円滑に中学校英語につなげるため、全小学校6年生を対象に、「英語能力判定テスト英検IBA」を実施 新規 ③ 外国人英語指導助手（ALT）による小学校におけるリスニング用CDの作成、中学校における長期休業期間中の外国語サポート事業を実施	外国語活動の推進 ① 全小学校の1年生から4年生において、共通の指導計画による外国語活動の完全実施（小学1,2年 年間5時間、3,4年 年間10時間） ② 全小学6年生を対象に英語能力の判定を行うため、28年度に実施した「英検IBA」を「英検ジュニア学校版」に変更し実施 拡充 ③ 外国人英語指導助手（ALT）による小学校におけるリスニング用CDの作成、中学校における長期休業期間中の外国語サポート事業の実施 ④ 全小学校から1名ずつ教員を募り、「千歳市外国語推進協議会」を設置し、小学5,6年生が年間35時間学習している外国語活動が教科化され年間70時間となる次期学習指導要領への対応案を検討 新規 ⑤ 小学校教員の外国語の指導力と英語力の向上を目的に、指導教員が複数校を巡回し指導助言を行う小学校外国語活動巡回指導員教員研修事業を新たに実施 本務校：千歳第二小学校、兼務校：他の市内小学校（平成29,30年度） 新規 ⑥ 小学校教員と中学校英語科担当教員を対象に「外国語活動研修会」を開催 拡充 ⑦ 市民講師の派遣時間を793時間から1,103時間に拡大 拡充
		国際理解教育の推進 ① 国際理解教育の充実を図るため、アンカレジ市ミアーズ中学校との相互交流でミアーズ中学校を訪問する生徒を12名から20名に拡大、平成29年1月7日から14日までの8日間にわたりミアーズ中学校を訪問 拡充 ② アンカレジ市サンドレイク小学校受入、平成28年6月7日から13日までの7日間、児童29名、保護者12名、引率4名	国際理解教育の推進 ① ミアーズ中学校受入、平成29年5月28日から6月2日までの6日間、生徒20名、引率3名 ② 千歳小学校とサンドレイク小学校の単独校交流を全小学校へ拡大、サンドレイク小学校訪問 平成30年1月予定 市内小学生30名、引率5名予定 拡充
	4 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進	コミュニティ・スクールの導入 ① 地域や保護者が学校運営に参画し、学校・家庭・地域が一体となってより良い教育の実現に取り組むため、「コミュニティ・スクール」の導入に向け、先進地視察や調査研究校の指定 新規	コミュニティ・スクールの導入 ① コミュニティ・スクールの調査研究校（青葉中、高台小、駒里小中）による導入のあり方や充実・改善に関する調査研究の実施（平成29,30年度） 拡充 ② 千歳市学校運営協議会規則を制定し、調査研究校において学校運営協議会の設置を可能とするとともに、ほかの学校においても自校と地域の状況を踏まえ、コミュニティ・スクール導入を推進 新規

分野	項目	平成28年度の主な実施状況	平成29年度の主な取組
学校教育		<p>不審者対策の推進</p> <p>① 「千歳っ子見守り隊」設立10年を機に10年間継続して活動している隊員へ感謝状を贈呈（小学校17校 266名） 新規</p> <p>② 青少年指導センターの指導員による巡回パトロールのほか、不審者情報の速やかな通報や「不審者情報マップ」の配布</p>	<p>不審者対策の推進</p> <p>① 「千歳っ子見守り隊」活動への継続的支援、永年感謝状交付の実施</p> <p>② 青少年指導センターの指導員による巡回パトロールのほか、不審者情報の速やかな通報や「不審者情報マップ」の配布</p> <p>③ 新たに市提案型協働事業として、「緊急避難所子ども110番の家事業」を実施し、登録している事業者や民家などへの確認作業と登録の新規開拓・拡大、子ども110番の家を掲載したリストや校区ごとの安全マップを作成し配布 新規</p>
		<p>いじめ防止・不登校対策の推進</p> <p>① 子どもたちの学校生活における意欲や満足度を把握し、いじめ・不登校の未然防止や学年・学級経営に活用するため、「ハイパーQ U検査」を小中学校の全学年で年2回実施（中学3年生は1回実施） 拡充</p> <p>② 「千歳市いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、いじめ根絶に向けた取組を推進</p> <p>③ いじめや不登校、暴力行為、児童虐待などの生徒指導上の課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員による教育相談体制を充実</p> <p>④ いじめ問題への対応のため、学校・警察・PTAなどによる「いじめ問題等対策連絡協議会」との連携、年4回の「いじめアンケート」の実施、「いじめ相談ボックス」の活用、「千歳市いじめ問題専門委員会」によるいじめ対策の成果と課題の検証</p> <p>⑤ 児童生徒の一日も早い学校復帰のため、学校適応指導教室「おあしす」を運営</p> <p>⑥ 統一的な不登校対策を行うため、「不登校学校対応マニュアル」を作成し、欠席7日以上となった段階での市教委速報、校内支援チームによる早期対応 拡充</p> <p>⑦ ネット上のいじめやネットトラブルの防止のため、ネットパトロールの実施と「情報モラル教育」の充実</p>	<p>いじめ防止・不登校対策の推進</p> <p>① 子どもたちの学校生活における意欲や満足度を把握し、いじめ・不登校の未然防止や学年・学級経営に活用するため、「ハイパーQ U検査」を小中学校の全学年で年2回実施（中学3年生は1回実施）</p> <p>② 国の「いじめ防止等のための基本的な方針」の改定に伴い、「千歳市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」の見直しの実施 拡充</p> <p>③ いじめや不登校、暴力行為、児童虐待などの生徒指導上の課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員による教育相談体制の充実</p> <p>④ いじめ問題への対応のため、学校・警察・PTAなどによる「いじめ問題等対策連絡協議会」との連携、年4回の「いじめアンケート」の実施、「いじめ相談ボックス」の活用、「千歳市いじめ問題専門委員会」によるいじめ対策の成果と課題の検証</p> <p>⑤ 児童生徒の一日も早い学校復帰のため、学校適応指導教室「おあしす」を運営</p> <p>⑥ 「不登校学校対応マニュアル」による不登校の未然防止・早期対応の徹底、校内支援チームによる組織的な対応</p> <p>⑦ ネット上のいじめやネットトラブルの防止のため、ネットパトロールの実施と「情報モラル教育」の充実</p>
	5	<p>豊かな心を育成する教育の推進</p> <p>読書活動の推進</p> <p>① 子どもたちの読書活動の充実を図るため、「ちとせっ子読書プラン」を推進</p> <p>② 小中学校の学校司書配置の業者選定をプロポーザル方式により実施、全小中学校に配置している学校司書を6名（4校に1名）から7名（3.4校に1名）に拡大し、環境整備や選書、調べ学習のアドバイスなど学校図書館の運営を支援 拡充</p>	<p>読書活動の推進</p> <p>① 子どもたちの読書活動の充実を図るため、「ちとせっ子読書プラン」を推進</p> <p>② 学校図書館の充実を図るため、全小中学校に配置している学校司書を2人区増員し、配置時間を1校あたり平均123時間増加し年473時間に、配置日数を1校あたり平均年20日増加し年86日に拡大 拡充</p>

分野	項目	平成28年度の主な実施状況	平成29年度の主な取組
学校教育		道徳教育の充実 ① 規範意識や自尊感情、思いやりの心などの道徳性を養うため、「私たちの道徳」を活用した道徳教育の推進 ② 教員の指導力の向上を図るため、全教職員を対象とした「道徳研修会」を実施 新規	道徳教育の充実 ① 規範意識や自尊感情、思いやりの心などの道徳性を養うため、「私たちの道徳」を活用した道徳教育の推進 ② 平成30年度からの教科化に向けて、道徳教育推進校の信濃小学校などによる研究発表を通じて、教員の指導力を向上
		体験的な活動の充実 ① 児童生徒が自ら考え行動する力を育成するため、「千歳アクティブスクール事業」等における体験的活動を実施 ② 職場体験や就業体験などのキャリア教育、児童会・生徒会等のボランティア活動を実施 ③ 小中学校の学習内容の交流を深めるとともに、子どもたちのプレゼンテーション能力の向上を図るため、千歳科学技術大学を会場とした「サイエンス会議」を実施	体験的な活動の充実 ① 児童生徒が自ら考え行動する力を育成するため、「千歳アクティブスクール事業」等における体験的活動を実施 ② 職場体験や就業体験などのキャリア教育、児童会・生徒会等のボランティア活動を実施 ③ 小中学校の学習内容の交流を深めるとともに、子どもたちのプレゼンテーション能力の向上を図るため、千歳科学技術大学を会場とした「サイエンス会議」を実施
		体力向上の推進 ① 子どもたちのリズムやバランスなどの運動神経の発達を促す「コーディネーション運動」を推進 ② 子どもたちの体力や運動能力の細かな把握と指導の充実を図るため、「新体カテスト」の活用と、各学校が体力の向上や運動習慣の定着に向けて創意工夫した「1校1実践」を実施	体力向上の推進 ① 子どもたちのリズムやバランスなどの運動神経の発達を促す「コーディネーション運動」を推進 ② 子どもたちの体力や運動能力の細かな把握と指導の充実を図るため、「新体カテスト」の活用と、各学校が体力の向上や運動習慣の定着に向けて創意工夫した「1校1実践」を実施
		健康教育の推進 ① 食物アレルギーに対応するため、学校対応マニュアルの取組徹底と転入教職員を対象とした「食物アレルギー講習」を実施 ② 子どもたちの虫歯予防を図るため、全小学校全学年において週1回の「フッ化物洗口」を実施 平成29年3月の実施率74.2%	健康教育の推進 ① 食物アレルギーに対応するため、学校対応マニュアルの取組徹底と転入教職員を対象とした「食物アレルギー講習」を実施 ② 子どもたちの虫歯予防を図るため、全小学校全学年において週1回の「フッ化物洗口」を実施
6	健やかな身体を育成する教育の推進	学校給食センターの整備検討 ① 学校給食センターが抱える課題を解決するため、新しい調理場の機能や設備、施設規模などに関する基本調査の実施や、教員・保護者等による外部検討委員会を設置など、新学校給食センターの整備に向けた調査検討を実施 新規	学校給食センターの整備検討 ① 平成28年度の基本調査結果を踏まえ、新学校給食センターの整備手法等調査業務を実施し、整備プランや整備手法などを検討 新規 ② 市の整備方針について検討し、学校給食センター整備に関する基本構想を策定 新規

分野	項目		平成28年度の主な実施状況	平成29年度の主な取組
学校教育	7	特別支援教育の推進	特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 特別支援学級で児童生徒の生活全般を支援する「児童生徒ヘルパー」を配置、通常学級において学習や生活面の支援を行う「特別支援教育支援員」を増員 拡充 ② 医療的ケアの必要な子どもを支援するため、新たに「学校看護師」を配置 新規 ③ 特別支援教育に関する学校への専門的な指導助言を強化するため、教員の割愛採用により、新たに「特別支援教育学校指導担当主査」を配置 新規 ④ 今後の特別支援教育に対する基本的な考え方として、「千歳市特別支援教育の推進に係る基本方針」を策定 新規 	特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うため、特別支援学級で児童生徒の生活全般を支援する「児童生徒ヘルパー」を配置し、通常学級において学習や生活面の支援を行う「特別支援教育支援員」を配置 ② 「学校看護師」による医療的ケアの必要な子どもを支援
生涯学習	1	いつでも、どこでも、だれでも学びあえる仕組みづくりの推進	自主的な学習活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 自主的な学習活動を支援し市民協働のまちづくりを進めるため、「千歳学出前講座」や「生涯学習フォーラム」を実施 ② 市民活動団体の活動を広く紹介するため、「ふるさとポケット」を実施 ③ 市民の自主的な活動と交流を支援するため、市民活動交流センター「ミナクル」を市民協働で運営、各種事業の実施 ④ まちづくりを行う人材や団体の育成のため、「みんなで、ひと・まちづくり委員会」の委員に、新たに大学生と高校生を加え新しい発想による事業を実施 拡充 <hr/> 学校支援地域本部事業の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ① 地域による子どもたちの活動支援のため、「学校支援地域本部事業」の支援対象校を17校から20校に拡大 拡充 <hr/> 放課後子ども教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ① 児童の放課後の居場所づくりのため、児童館未設置地区である緑小学校区に、新たに「放課後子ども教室」を開設 新規 	自主的な学習活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 自主的な学習活動を支援し市民協働のまちづくりを進めるため、「千歳学出前講座」や「生涯学習フォーラム」を実施 ② 市民活動団体の活動を広く紹介するため、「ふるさとポケット」を実施 ③ 市民の自主的な活動と交流を支援するため、市民活動交流センター「ミナクル」を市民協働で運営、各種事業の実施 ④ 「みんなで、ひと・まちづくり委員会」において、学生委員（大学生と高校生）の新たな視点とアイデアによるまちの魅力発見につながるような事業を展開 <hr/> 学校支援地域本部事業の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ① 「学校支援地域本部事業」の支援対象校に2校（富丘中、青葉中）を加え、20校から22校に拡大 拡充 <hr/> 放課後子ども教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ① 児童の放課後の居場所づくりのため、緑小学校区に「放課後子ども教室」を実施
	2	社会の変化や今日的課題などに対応した様々な学習機会の充実	学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 市民ニーズに応じた学習機会を充実するため、「市民教養セミナー」を実施 ② 国際理解や国際感覚を身につけるため、市提案型協働事業「英会話教室」、「英語暗唱コンテスト」を実施 ③ 高齢者の学習機会を提供するため、「千歳高星大学」と「千歳高星大学大学院」、「若返り学園」を運営 ④ 家庭教育に関する学習機会を提供するため、「ママさん教室」、「男性の子育て講座」、「家庭教育セミナー」を開催 	学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 市民ニーズに応じた学習機会を充実するため、「市民教養セミナー」を実施 ② 国際理解や国際感覚を身につけるため、市民協働プロモーション事業「英会話教室」、「英語暗唱コンテスト」を実施 ③ 高齢者の学習機会を提供するため、「千歳高星大学」と「千歳高星大学大学院」、「若返り学園」を運営 ④ 家庭教育に関する学習機会を提供するため、「ママさん教室」、「男性の子育て講座」、「家庭教育セミナー」を開催

分野	項目	平成28年度の主な実施状況	平成29年度の主な取組
生涯学習	3 市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実	社会教育施設の充実 ① 社会教育施設の機能充実のため、北ガス文化ホールにおいて、非常照明用蓄電池の更新や舞台吊物ワイヤーを交換 ② 来館者の利便性と安全性の向上を図るため、千歳公民館の館内を土足可能とするエントランスを改修 新規 ③ 来館者の利便性の向上を図るため、市立図書館に利用者のバッグやカバンを預けるコインロッカーを設置 新規	社会教育施設の充実 ① 社会教育施設の機能充実のため、北ガス文化ホールにおいて、舞台吊物ワイヤーの交換や中ホール舞台の床改修 ② 来館者の利便性と安全性の向上を図るため、千歳公民館の大集会室用のテーブル、イスの更新 新規
	4 多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援	文化鑑賞機会の充実 ① 子どもから大人まであらゆる世代が芸術文化に触れる機会を提供するため、北ガス文化ホールや市民ギャラリーにおいて音楽・演劇・舞踊などの公演、絵画・書道・写真等の作品展を実施 ② 文化芸術団体のネットワークづくりを支援するため、「文化芸術団体等連絡交流会」を開催し、単独による展示会開催が難しい団体が合同で行う「共同展示会」を開催、「生涯学習情報メールマガジン」や「学（まな）ブログ」を配信	文化鑑賞機会の充実 ① 子どもから大人まであらゆる世代が芸術文化に触れる機会を提供するため、北ガス文化ホールや市民ギャラリーにおいて音楽・演劇・舞踊などの公演、絵画・書道・写真等の作品展を実施 ② 文化芸術団体のネットワークづくりを支援するため、「文化芸術団体等連絡交流会」を開催し、単独による展示会開催が難しい団体が合同で行う「共同展示会」を開催、「生涯学習情報メールマガジン」や「学（まな）ブログ」を配信
		読書環境の充実 ① 読書環境の充実のため、市立図書館における高齢者入所施設へ貸出を行う「高齢者支援サービス」の実施、乳幼児を持つ母親が気軽に来館できる「赤ちゃんタイム」を毎月1回実施 拡充	読書環境の充実 ① 読書環境の充実のため、市立図書館における高齢者入所施設へ貸出を行う「高齢者支援サービス」の実施、乳幼児を持つ母親が気軽に来館できる「赤ちゃんタイム」を毎月1回実施
	5 文化財の保護と継承	国指定史跡キウス周堤墓群の保存と活用 ① 国指定史跡「キウス周堤墓群」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を目指した取組を実施 ② 市民団体「キウスを守る会」の活動支援、市民ボランティアガイドの育成	国指定史跡キウス周堤墓群の保存と活用 ① 国指定史跡「キウス周堤墓群」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を目指した取組を実施 ② 市民団体「キウスを守る会」の活動支援、市民ボランティアガイドの育成
	6 思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進	青少年健全育成活動の推進 ① 自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実を図るため、「チャレンジ教室」を開催し、体験活動事業を実施 ② 英語に対する興味や関心を高めるため、小学5、6年生を対象に「イングリッシュキャンプ」を年2回実施 拡充 ③ 青少年の非行防止のため、「青少年指導センター」の専門指導員による街頭巡回指導、早朝・夜間指導、神社祭りや盆踊りの特別指導、列車指導などを実施	青少年健全育成活動の推進 ① 自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実を図るため、「チャレンジ教室」を開催し、体験活動事業を実施 ② 英語に対する興味や関心を高めるため、小学5、6年生を対象に「イングリッシュキャンプ」を年2回実施 ③ 青少年の非行防止のため、「青少年指導センター」の専門指導員による街頭巡回指導、早朝・夜間指導、神社祭りや盆踊りの特別指導、列車指導などを実施